

これからの林業・木材・住宅・自然エネルギーを考えるシンポジウム2012

環境先進国ドイツのなかで、早くから環境問題に取組み世界から注目を集めているフライブルク市と、豊かな森林環境を背景に活発な地域経済循環が行われているシュヴァルツヴァルト地域の「エコ住宅」「地域木材産業」「多機能林業」「自然エネルギー」「観光・産業」の取り組みとコンセプトを、ドイツ在住の池田憲昭氏とミヒャエル・ランゲ氏が紹介し、これからの長野県の地域社会の未来とあり方(ヴィジョン) 地域木材を取り入れた生活を皆で考えるセミナーとワークショップを行います。

シュヴァルツヴァルト(黒い森)地域と環境都市フライブルグ市を訪れる人全て、「なんて豊かな生活をしているのか、訪れた外国人も幸せな気持ちにさせてしまうこの社会はどうしてできているのか」と考えさせられます。池田氏とミヒャエル・ランゲ氏がその疑問の答え、これからの地域社会のあり方や地域木材を取り入れた生活を考えるヒントを私たちに提供してくれます。

開催日：2012年10月28日(日) 午前10:00~4:00

場所：塩尻市えんぱーく5階 イベントホール

参加人数：60名

参加費：1,000円(昼食代込み)

対象者：県民

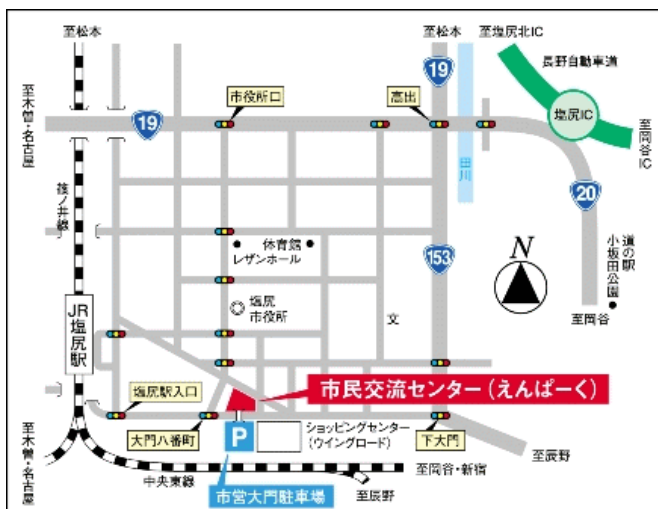
講師：池田 憲昭 Mr. Michael Lange/ミヒャエル ランゲ(ドイツ森林官) 中尾 友一

主催：信濃の心をつなぐ家づくりグループ

後援：民間企業

協力：長野県(予定)・塩尻市(予定)

<会場場所>



<申し込み>

【シンポジウム運営事務局】

有限会社和建築設計事務所

〒399-0703 長野県塩尻市広丘高出西原 1955-3

TEL:0263-51-0318 FAX:0263-51-5352 E-mail:info@kazu-design.co.jp

【ワークショップスケジュール】

午前 10 : 00~11 : 00

対象地域の方による、地域林業、木材産業、観光業に関する概況、将来の展望に関する説明

午前 11 : 00~12 : 00

レクチャー 「森林・林業が生み出す価値 雇用、木材産業、景観、観光、環境教育」

池田氏

午後 12 : 00~1 : 00

昼食

(お弁当を食べながらのランチディスカッション)

午後 1 : 00~3 : 00

ワークショップ

地域の人たちの林業、木材産業、観光業、エネルギーに関する構想やアイデア、疑問に対して、ランゲ氏、池田氏が、具体的なアドバイスと提案をします。

午後 3 : 00~4 : 00

聴講者も含めた質疑応答と市民が木材を使ったこんな生活がしたいを発表してまとめ

【講師】

<池田憲昭 Noriaki Ikeda>

日独森林環境コーディネーター、ジャーナリスト、ドイツ在住。Arch Joint Vision 社代表

1972年生まれ 岩手大学人文社会科学部卒業 2002年フライブルク大学森林環境学部ディプローム課程修了。

2003 年より、環境、林業等をテーマに、企業や自治体等の事業サポート、視察コーディネーター、通訳、講演等を行う 2010年日本の林野庁の林業再生プラン実践事業をドイツの森林官らと共に支援

林業、木材産業、バイオマス、農業 エコ建築 再生可能エネルギー 地域振興、グリーンツーリズム

都市計画 自動車産業 機械産業、IT 電気などドイツ等の取組みを日本に紹介

HP : <http://www.arch-joint-vision.com/>

<ミヒャエル ランゲ Mr. Michael Lange>

ドイツ・フォレスター (ドイツ森林官)

1961 年生まれ バーデンビュルテンベルク州 ビーダーバッハ在住 エメンディンゲン郡森林署
区画担当森林官

<信濃の心をつなぐ家づくりグループ>

平成 20 年 4 月 1 日に結成された企業及び団体 (32 者) による民間任意団体で、長野県認定「長野県地域循環型住宅産業活性化事業に係る地域産業グループ」、長野県「ふるさと信州・環の住まい」産業認定グループ、林野庁認定「顔の見える木材での家づくり」グループ、国土交通省平成 24 年度地域型住宅ブランド化事業採択されている。活動目的は地域住宅産業に係る企業ネットワークシステムや地域材の生産・加工・流通システムの確立、信州の資源を有効活用した地域循環型家づくりの研究開発とエコ住宅の建設、住宅用資材としての県産材利用の拡大である。